

支笏湖ビジターセンター便り

湖の鏡現象から、春を感じよう

2022年(令和4年)3月号 Vol. 147



3月10日湖の北西岸・ポロピナイからの風景です。湖上の風が止み、湖面に周囲の景色を映す鏡現象が起きました。完全な鏡ではありませんでしたが、高気圧が湖周囲を覆う春特有の天候がもたらすもので、5月上旬ごろまで見られます。穏やかな湖は、のどかで美しい風景です。湖畔で心ゆくまで堪能しましょう。

森に響く「さえずり」から、春を感じよう

森や園地では野鳥がさえずりを響かせています。ビジターセンター周囲ではゴジュウカラの「フィーフィーフィー」という力強い声が一番目立っていますよ。「さえずり」はオスが出すなわばりを主張したり、メスを呼んだりする声です。春本番にむけて、野鳥たちは繁殖活動を始めました！森に響くさえずりから春を感じ取ってください。



逆立ち体制で木を下っているゴジュウカラ

エゾシカの「抜け毛」からも、春を感じられますか？



園地にはエゾシカの作った獣道が何本もあります。その道には「今ならでは」の落とし物が！それはエゾシカの「体毛」！エゾシカの毛は冬、濃い茶色（灰色っぽく見えます）をしています。夏には明るい茶色の毛に変わります。落ちて毛は生え変わりの時期に突入した証です。抜けた冬毛が、ドサッ、ドサッとまとまって落ちているのを発見でき、この光景に春を感じたらあなたは自然「通」ですね！

雪景色の中で春を感じよう

今季の支笏湖温泉地区の降雪量はビジターセンター観測史上最高の307cm。例年であれば3月下旬にはフクジュソウが咲く場所も、いまだ（3月中旬）たつぷりの積雪があり、春はまだ遠く感じるかもしれませんね。でも日差しは日毎に強さを増して、周囲を明るく照らしていますよ。

園地や森はのどかで春めいた空気がただよっています。この先、本格的な春になるまでスピードを上げて変化しますが、今回はその変化の「兆し」を紹介します。皆さんも自然の中に身を置いて春の兆しを感じ取ってみませんか！

暖かな日差しを浴びた冬芽から春を感じよう

無風、暖かな日差し、青い空。心地良い時が流れる瞬間です。

こんな日はぜひ、青空をバックに樹木の枝先を眺めてみてください。ぶっくりとした形の、可愛い冬芽が視界に飛び込んできますから！4月下旬に開花するキタコブシの花芽です。暖かい日差しを浴びながら、開花の準備をしていますよ。



ビジターセンターそばに立つキタコブシ。花芽をたくさんつけています。

写真はオオカメノキという落葉低木が冬越しのために準備した冬芽です。多くの落葉樹の冬芽は芽鱗（がりん）というカバーに守られていますが、オオカメノキは芽鱗がない「裸芽（ららが）」です。ウサギのような見た目でかわいいですね。ウサギの耳に当たる部分が葉になる部分（葉芽）で、細かい葉脈が見えます。一方、顔に当たる部分は花になる部分（花芽）なんです。緑色が濃くなった森の中で、大きな丸い葉の上に咲く白い花が待ち遠しいですね。



「野鳥の森」遊歩道さんぽ
「休暇村支笏湖」周辺の森を歩いて見つけた
旬の自然を紹介するコーナーです
かわい冬芽の持ち主 オオカメノキ

支笏湖温泉 の気象

支笏湖畔の気温・降水量
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

気温(℃)			降水量(mm)		
	平年値	今年		平年値	今年
2月上旬	-5.3	-5.1	2月上旬	19.6	3.5
中旬	-4.4	-3.7	中旬	28.5	56.0
下旬	-3.4	-2.5	下旬	24.2	15.0
3月上旬	-2.7	-1.2	3月上旬	40.9	31.5

昨年末以来、気温が高めに推移し、2月の平均気温は平年値より0.6℃高い-3.9℃でした。降水量は2月上旬が少なかったものの、中旬に平年の2倍と多く月合計ではほぼ平年並みとなっています。

支笏湖ビジターセンターの観測による3月10日現在の積雪深は94cm。同日までの累積積雪量は、2013年10月の観測開始以来、これまで最多の2015年同期の288cmより19cm多い307cmとなっています。積雪0cmは、これまで最も早いのが2021年3月29日、最も遅かったのが2017年4月15日でした。



環境省支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブ・レンジャー(自然保護官補佐)
荒川 真吾

アクティブ・
レンジャー日記

皆さんこんにちは。寒さが日に日に緩み、今年はあれだけ多く積もった雪も、すごい勢いでとけていっていますね。先日は支笏湖も文字通り「雲1つない」青空に恵まれ、ポロピナイで写真を撮影してきました。

今年度最後の月となり、私がこのコーナーを担当させていただくのも最後となりました。支笏湖のような素敵な自然がずっと残されていくように、小さくても自分にできることを続けていきたいと思います。1年間という短い間でしたが、お付き合いいただきありがとうございました!!

新たな餌場を求めるエゾシカ



←千歳川にかかる翠明橋付近の国道沿いの斜面。ビジターセンターから徒歩5分ほどのところ。

樹皮を剥いているエゾシカが50頭ほど目撃されることも!

大雪はエゾシカの行く手を阻みます。細い足、重たい体重のエゾシカにとって、今季の大雪は「緊急事態」ともいえるでしょう。

毎年数を増やしていることありますが、今年は大雪のせいで山奥に入らず、人が生活するすぐそばにまで餌場を広げ生活しているようです。また、深すぎる雪が食料の一つである笹を隠している今は、餌のほとんどを樹皮に頼っているようです。樹皮を食われた無残な木が立ち並ぶ様子が生活道路から丸見えです。森全体のバランスが崩れるような「緊急事態」が起こっているように思えてなりません。

今年度

自然ふれあい行事 終了



2月27日「支笏湖こどもDay」の様子

コロナ禍での緊急事態宣言を受け、中止になったものもありますが、開催できた行事は毎回ほぼ満員で、楽しく有意義な内容で進行することが出来ました。来年度も参加されるの方の心に残る自然体験をしていただけるよう運営いたしますので宜しくお願いいたします。

来年度4月からの年間行事予定表は4月下旬にビジターセンター館内、HP等で発表いたします。お楽しみに!!

多目的室 展示紹介

3月31日(木)まで

北海道大学水産科学研究院「CEP・RAMAT:共生水域」
活動コミュニティミニシンポより

支笏湖水圏資源の持続的な利用 のための調査・研究群報告スライド

北海道大学水産科学研究院の学生たちが支笏湖で調査・研究した成果の発表です。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行

〒066-0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地

TEL 0123-25-2404

HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料

4月から11月 午前9時から午後5時30分まで

12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで
(火曜日休館)

年末年始休館日 12月29日から1月3日まで